

# ジョブ型研究インターンシップの検討について



令和2年10月12日  
高等教育局 専門教育課



文部科学省  
MEXT  
MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# 背景・概要

## 1. 背景

- ◆ 「研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ」（令和2年1月総合科学技術・イノベーション会議）

< 目 標 > 多様なキャリアパスの実現、魅力ある博士課程の実現

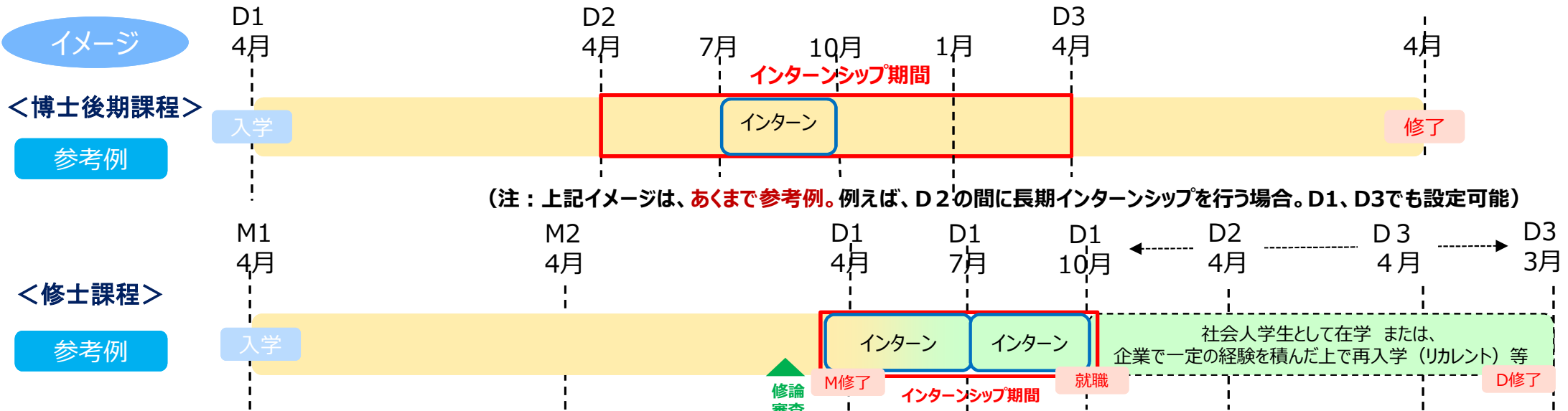
< 主な取組み > 博士課程学生の長期有給インターンシップの単位化・選択必修化の促進（2021年度～）

- ◆ 「Society 5.0に向けた大学教育と採用に関する考え方」（令和2年3月採用と大学教育の未来に関する産学協議会）

< 採用・インターンシップの姿 > 採用方法の多様化・複線化、学修成果と習得した能力を尊重した採用選考が定着、ジョブ型採用定着

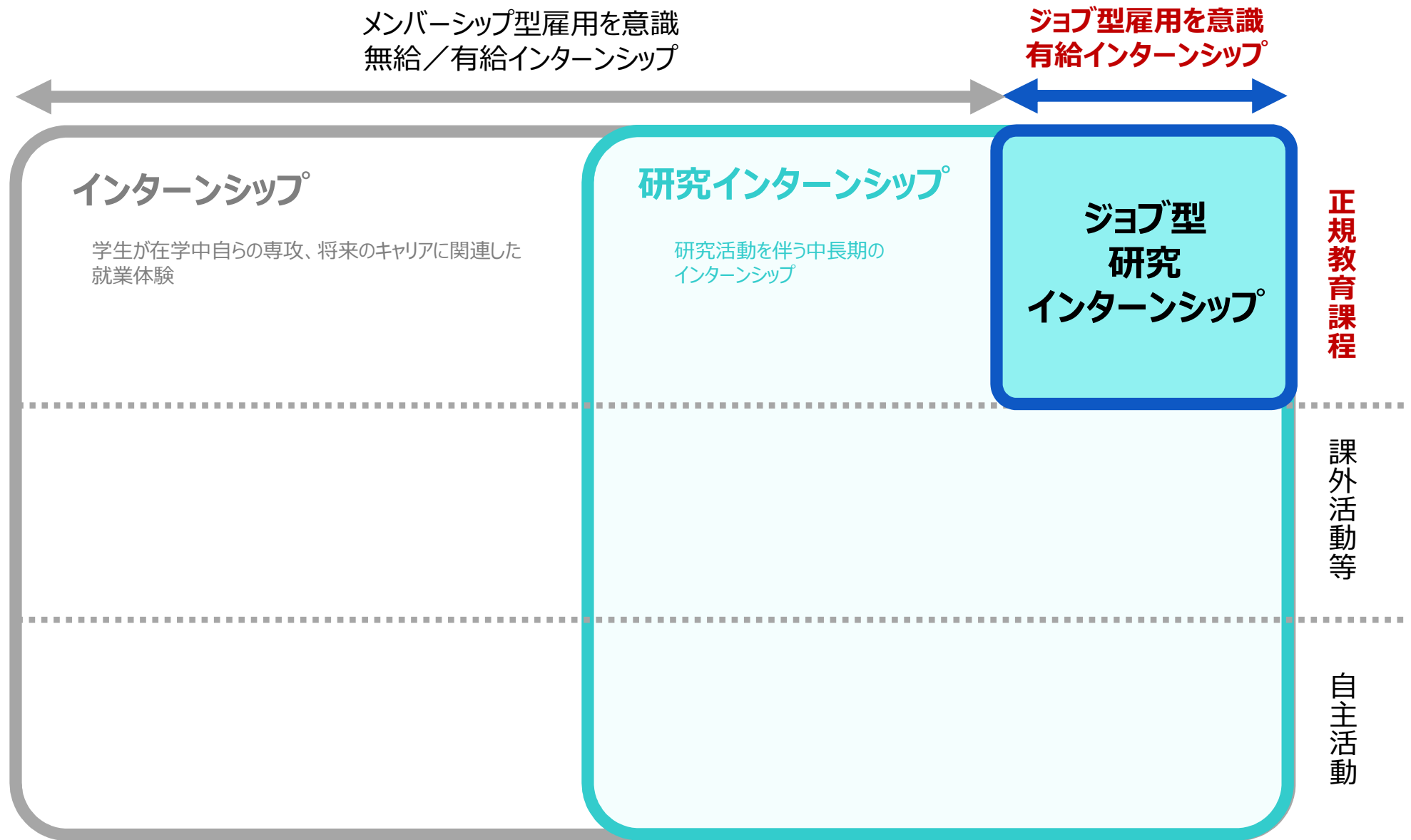
## 2. 概要

- ◆ 今後拡大が見込まれる「**ジョブ型採用**」を見据え、**大学院教育の一環**として行われる**研究インターンシップ**
- ◆ 産学の共通認識を確立するため、先行的・試行的取組から実施
- ◆ ジョブ型研究インターンシップ（先行的・試行的取組）の要件（案）
  - ・ 研究遂行の基礎的な素養・能力を持った大学院学生が対象（博士後期課程学生、理学・工学・情報学から開始）
  - ・ **長期間（概ね2ヶ月以上）かつ有給**
  - ・ **正規の教育課程の単位科目として実施**
  - ・ **企業は研究インターンシップのジョブディスクリプション（業務内容、必要とされる知識・能力等）を提示**
  - ・ インターンシップの成果は、企業が適切に評価し、採用選考活動に反映することが可能



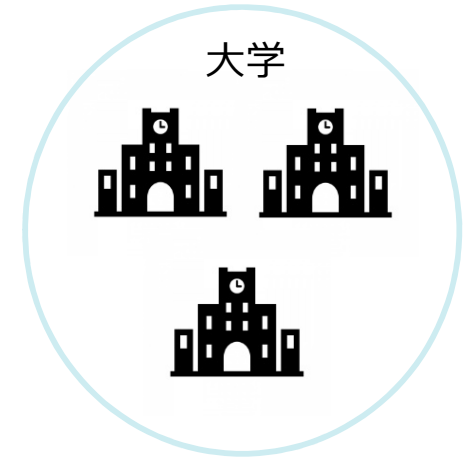
（注：上記イメージは、あくまで参考例。各大学において、どの時期、どのような方法で、ジョブ型研究インターンシップを行うことが効果的か、検討が必要）

# ジョブ型研究インターンシップの当面の位置づけと目的



産学協働で採用とインターンシップに関する共通認識を確立し、  
Society5.0に相応しい雇用の在り方と高等教育が提供する学びのマッチングを主導

# ジョブ型研究インターンシップの効果



- 優秀な学生の知識・能力の  
研究開発現場での活用
- 優秀な学生の採用
- 大学、教員との関係強化、  
共同研究への発展
- 大学院教育への参画・投資

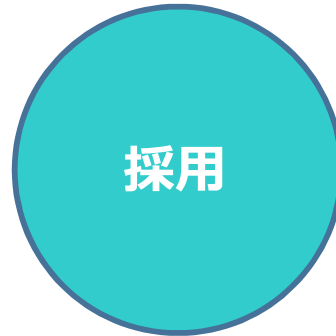
- 研究力に裏打ちされた実践力の習得
- キャリアパスの選択肢拡大
- アカデミアに就いたとしても生きる  
企業の研究スタイルへの理解
- 大学と企業をつなぐ素養の習得

- 研究力に裏打ちされた実践力を産学で  
育成する教育課程の提供
- 博士後期課程の魅力度向上
- 企業との関係強化、共同研究への発展
- より社会に必要とされる大学への転換

研究力に裏打ちされたイノベーション力強化への貢献

# ジョブ型研究インターンシップを巡る課題と方向性

博士後期課程学生を中心に



大学

- 企業が必要とする知識・能力の把握
- 学修させるべき知識・能力の明確化
- 研究力と実践力の並行した育成

- インターンシップと採用活動の連結への理解
- 企業も信頼できる学修成果の可視化
- 学生への情報提供

- 学生参加数の拡大
- 大学の研究活動とインターンシップとの両立
- 実施体制の整備、合理的負担

企業

- 必要とされる知識・能力の明確化
- 大学院教育への参画・投資

- 大学の成績・修了（学修成果）への信頼
- 博士人材の知識・能力の認知
- ジョブ型雇用への転換の流れ

- 企業にメリットのある有給ジョブの提供
- 受入企業、受入部署の拡大
- 有給の場合の知財の取扱い
- マッチングに当たっての合理的負担

方向性

- 先行的・試行的取組を通じて育成すべき人材像について相互理解を形成
- 長期間（概ね2ヶ月以上）かつ有給による実践的なインターンシップ
- 正規の大学院教育として、企業も参画して実践力を育成

- 先行的・試行的取組の好事例を積み重ね、相互理解を形成
- 成果は、適切に評価し、採用選考活動に反映可能（制限のない博士後期課程学生から開始）
- 採用方法・卒業時期・入社時期の多様化への対応

- 先行的・試行的取組の好事例を積み重ね、周知・ブランド化
- 連携促進によるマッチング支援機能強化と受入先開拓・拡大
- 知財の取扱いなど共通ルールの策定
- 支援機関について大学・企業にとり合理的なビジネスモデルの試行

※ 修士課程学生に係る課題と方向性についても、博士後期課程学生の議論をベースに検討

# ジョブ型研究インターンシップの推進体制

## ジョブ型研究インターンシップ推進委員会

- 「ジョブ型研究インターンシップ」を推進するための「施策」について検討、評価及び助言する組織
- 文科省・経団連が共同で運営（オブザーバ参加：厚労省、経産省、科政局）

### 先行的・試行的取組を実施

#### 運営協議会（コンソーシアム）

「先行的・試行的取組」を推進する大学、企業等からなる協議体

#### 運営委員会（ステアリング・コミティ）

運営協議会の意思決定機関

#### 事務局（マッチング支援機関）

運営協議会の事務局。先行的・試行的取組にあたり、大学、学生、企業等のマッチング・調整・支援・連携を実施

### 大学院段階における研究インターンシップ<sup>o</sup> （例）

- （一社）産学協働イノベーション人材育成協議会（C-ENGINE）
- 卓越大学院プログラム
- 各大学・各企業における取組 等

連携

### 関係府省の施策

### ポスドクによる研究インターンシップ<sup>o</sup>

# ジョブ型研究インターンシップ推進委員会

## 座長



橋本 和仁 (はしもと かずひと)  
・内閣府・総合科学技術イノベーション会議議員  
・国立研究開発法人物質・材料研究機構理事長

## 企業側



中畑 英信 (なかはた ひでのぶ)  
・株式会社日立製作所 代表執行役執行役専務  
コーポレートコミュニケーション・オーディット責任者  
兼 CHRO  
兼 人財統括本部長  
兼 安全マネジメント推進本部長



早川 茂 (はやかわ しげる)  
・日本経済団体連合会副会長  
・トヨタ自動車株式会社代表取締役副会長



古田 弘信 (ふるた ひろのぶ)  
・第一三共株式会社常務執行役員・総務本部長

## 大学側



大久保 達也 (おおくぼ たつや)  
・国立大学法人東京大学理事・副学長



笠原 博徳 (かさはら ひろのり)  
・早稲田大学副総長 (研究推進、情報化推進担当)



川端 和重 (かわばた かずしげ)  
・国立大学法人新潟大学理事・副学長

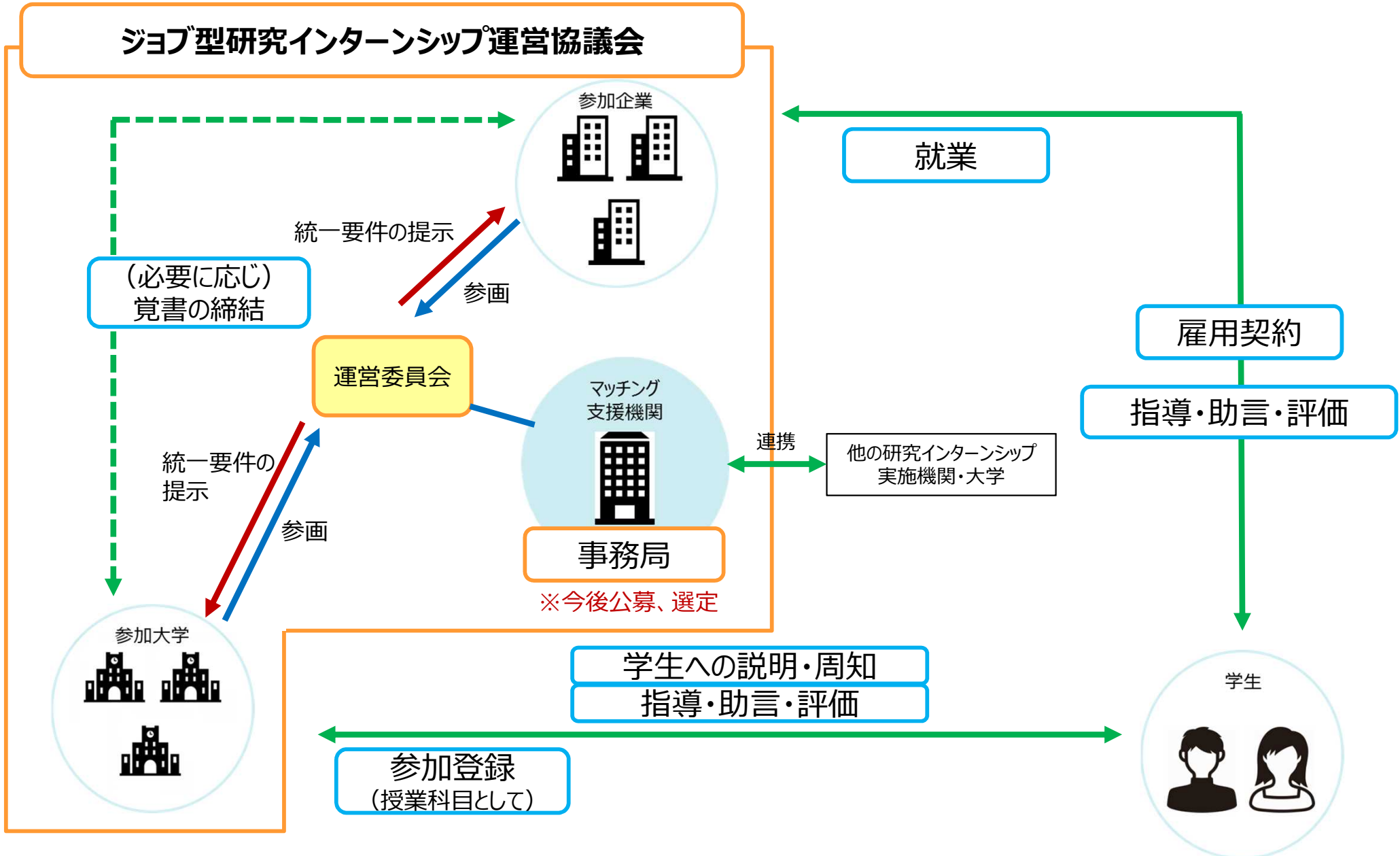


益 一哉 (ます かずや)  
・国立大学法人東京工業大学学長



# 先行的・試行的取組の推進イメージ

- 目標（KPI）については、参加企業が用意できる研究インターンシップ数を基本に算定される参加学生数で設定
- 先行的・試行的取組以外で「ジョブ型研究インターンシップ」を実践している取組があれば、公式アクティビティとして認定することも一案





# 先行的・試行的取組の具体化に向けた検討の流れ

## 先行的・試行的取組実施に向けた検討の関心表明

※企業：52企業 + 4団体  
大学：69大学  
(令和2年6月30日時点)



10月

ジョブ型研究インターンシップ推進委員会の設置



○先行的・試行的取組実施方針（ガイドライン）の策定  
○マッチング支援機関の公募要領・審査要領の策定  
(→ 検討の関心表明をした企業・大学への検討依頼・意見反映 → **確定**)

来年 3月  
~4月

事務局（マッチング支援機関）の公募



○マッチング支援機関の決定

先行的・試行的取組の参画機関（企業・大学）の確定

## 「ジョブ型研究インターンシップ」の先行的・試行的取組の実施へ

※上記スケジュールは、現時点での想定



# 推進委員会の検討事項予定

【第1回（10月12日）】先行的・試行的取組素案作成に向けた準備

- ジョブ型研究インターンシップを進めるに当たっての課題と方向性について
  - ジョブ型雇用の現状と展望について（現状把握）
  - 採用活動と研究インターンシップの在り方と課題について
  - ジョブ型研究インターンシップの目的・定義・要件（当面の議論の対象）
  - 先行的・試行的取組の目的・定義・要件・目標（KPI）設定について

【第2回（1月）】先行的・試行的取組素案の検討

- 先行的・試行的取組の実施方針について
- マッチング支援機関の公募要領・審査要領（要件、選定）について
- 既存の研究インターンシップとの連携について

【第3回（1月、書面）】先行的・試行的取組の実施方針及びマッチング支援機関公募要領・審査要領の決定

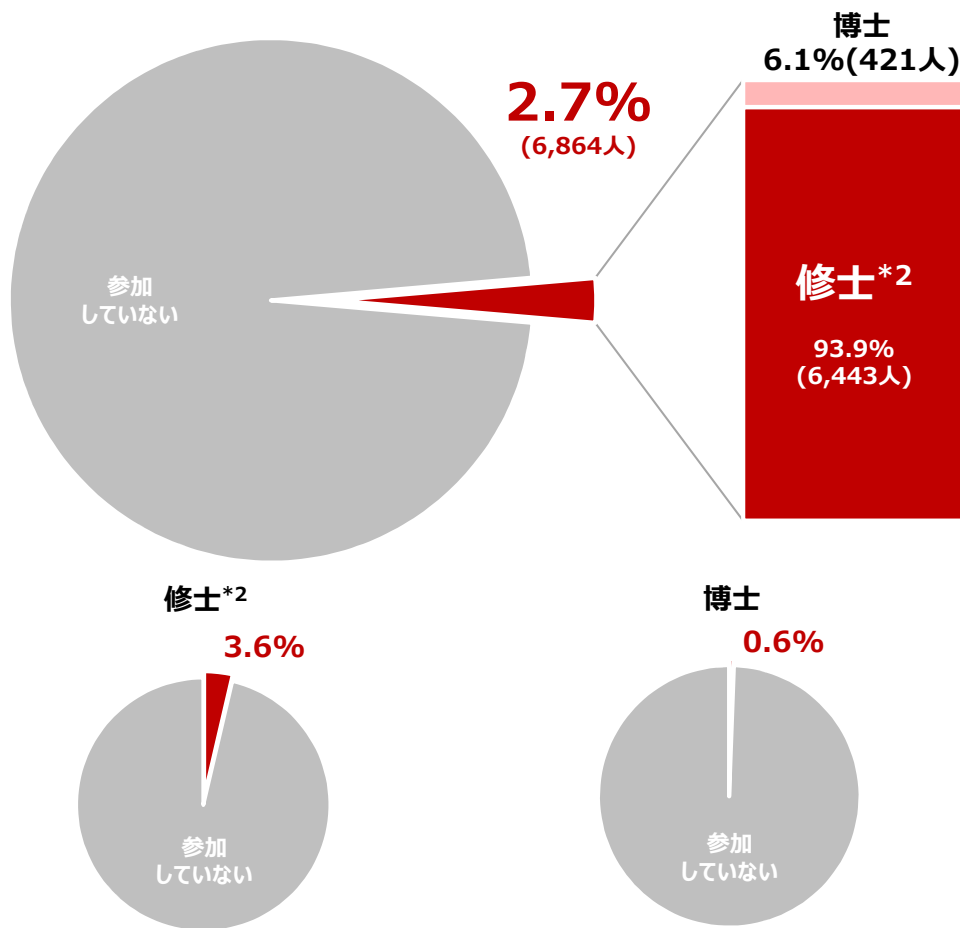
- 先行的・試行的取組の実施方針について
- マッチング支援機関公募要領・審査要領について

【第4回（3～4月）】マッチング支援機関の選定

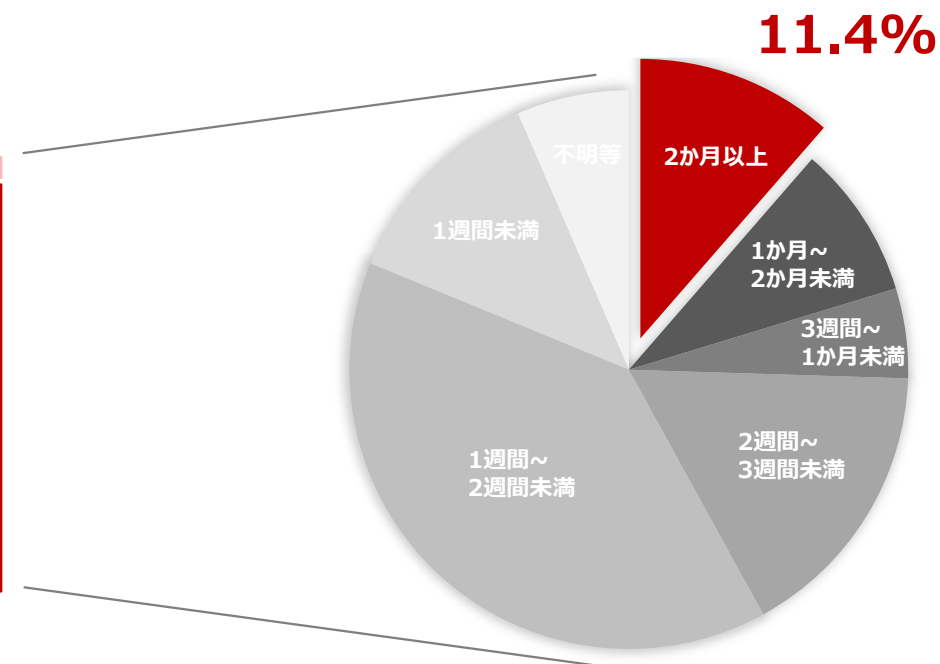
- マッチング支援機関の選定について（選定審査）

# (参考)インターンシップ関連の統計データ

単位認定インターンシップに参加した  
大学院生（平成29年度）\*1



インターンシップの期間



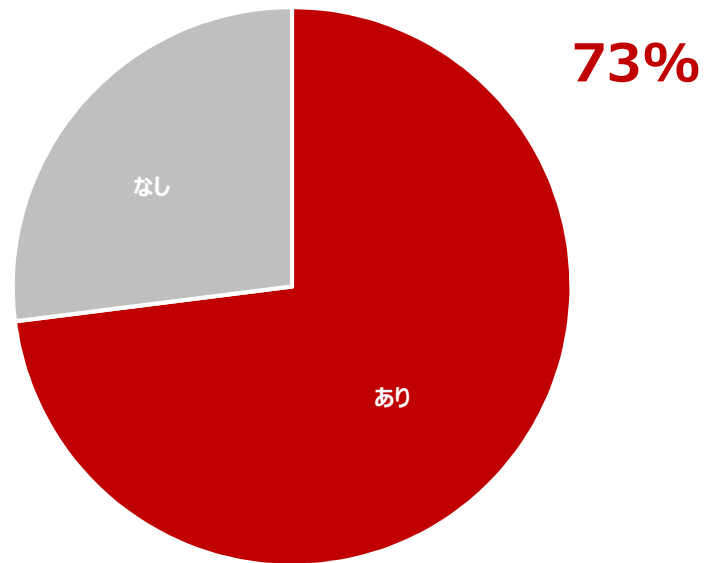
\*1 特定の資格取得に関係しないインターンシップ

\*2 専門職学位含む

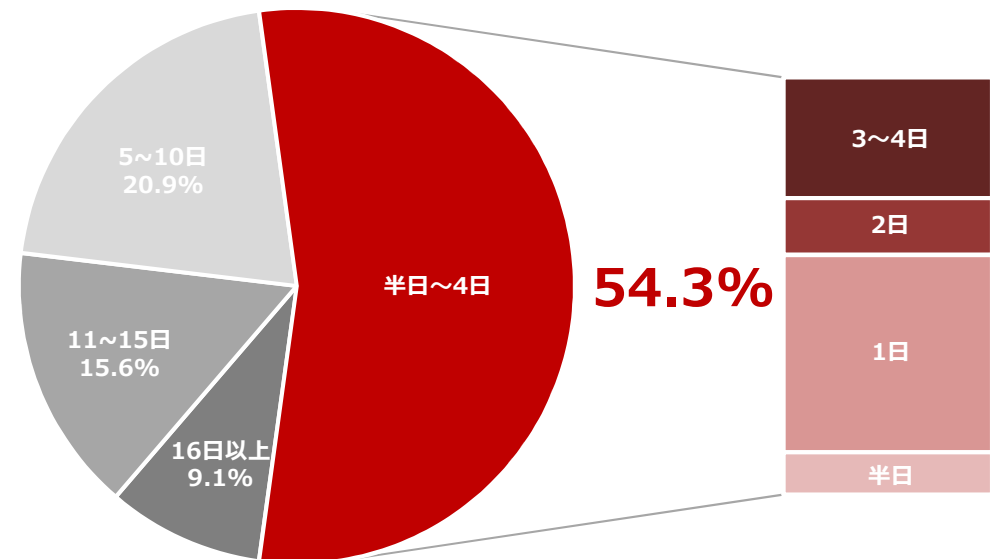
出典：平成29年度大学等におけるインターンシップ実施状況調査（文部科学省）

# (参考)インターンシップ関連の統計データ

インターンシップ参加経験  
(大学院2年生)



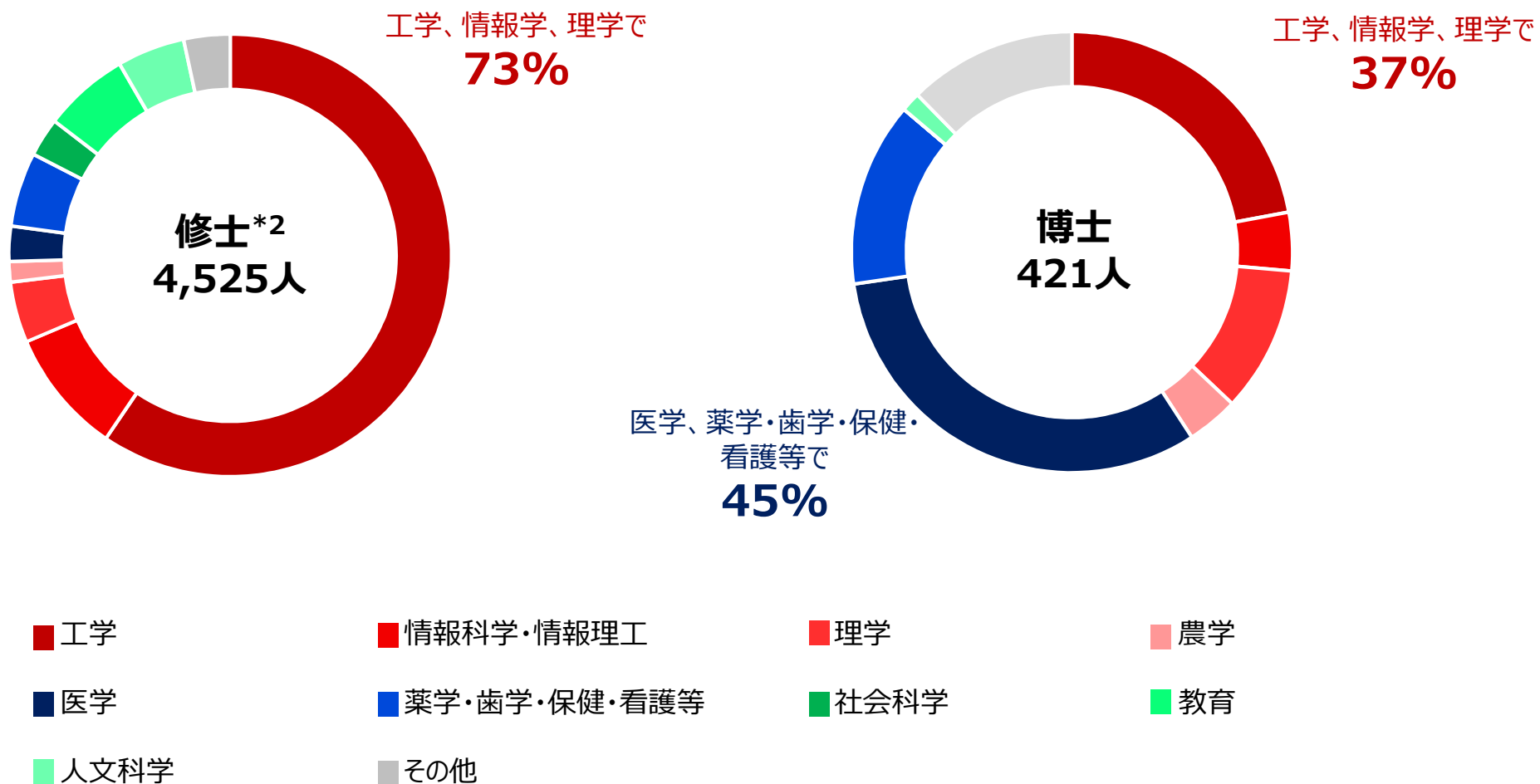
インターンシップの期間



出典：学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査 調査研究報告書（内閣府令和元年度委託調査事業）

# (参考)インターンシップ関連の統計データ

単位認定インターンシップに参加している学生の専攻分野（平成29年度）\*1



\*1 特定の資格取得に関係しないインターンシップ

\*2 専門職学位課程の学生1,918人を除く